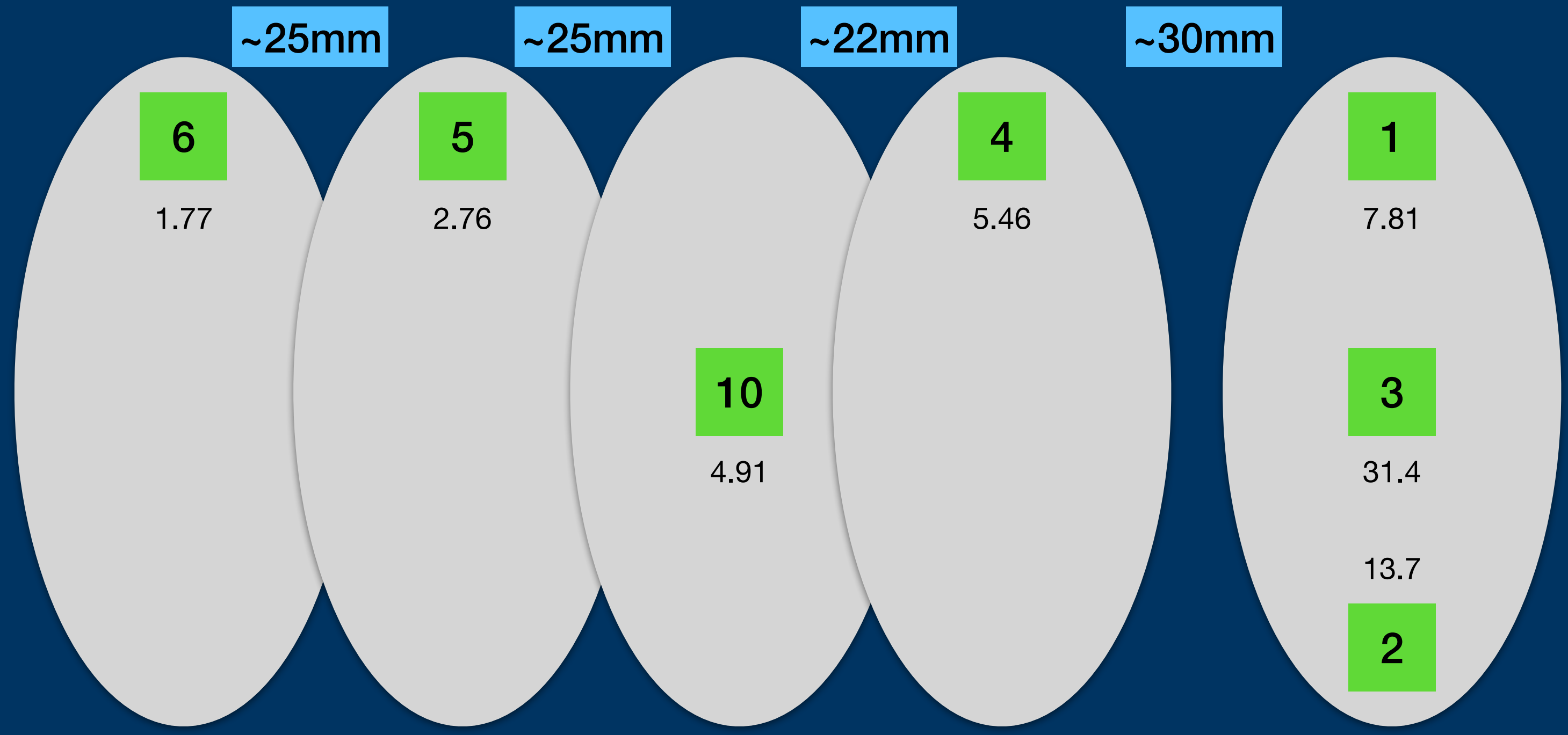


# 2022と2023中性子照射量の比較

単位:  $10^{11}$

2022

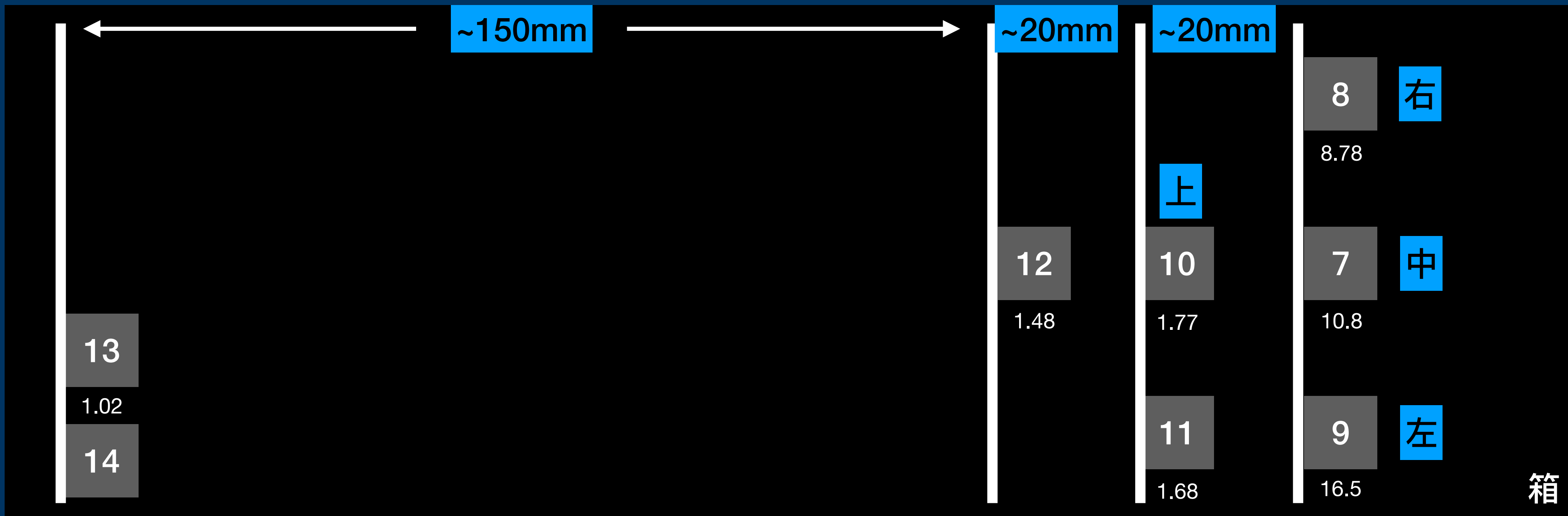
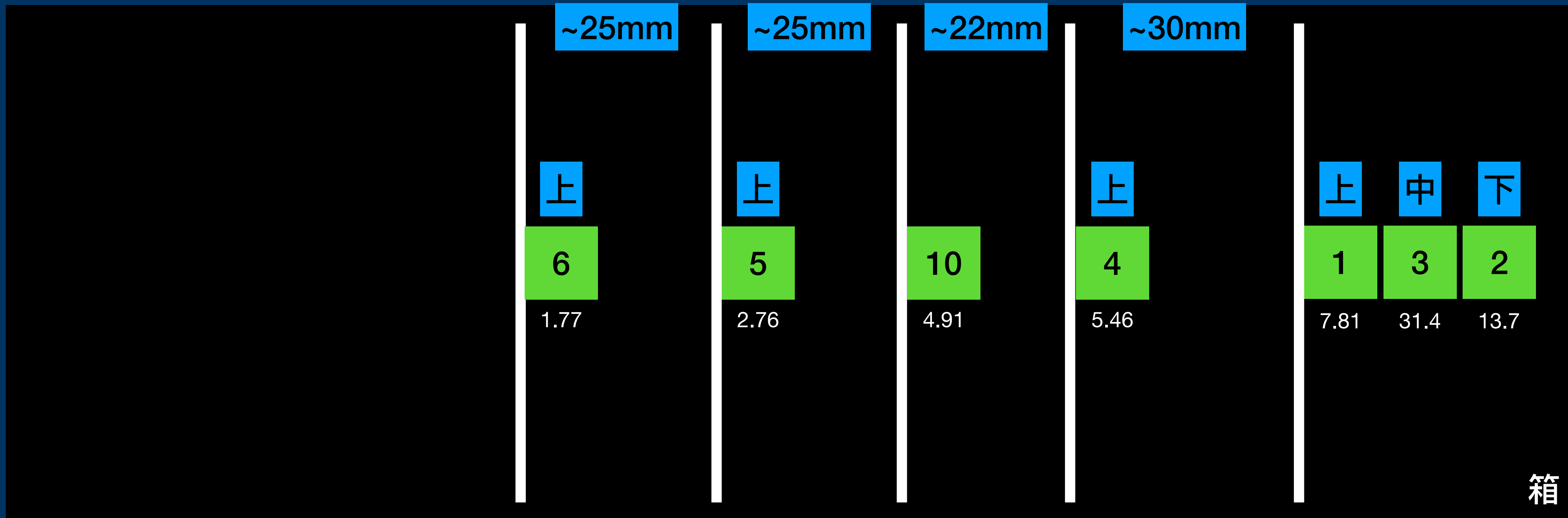
← Beam

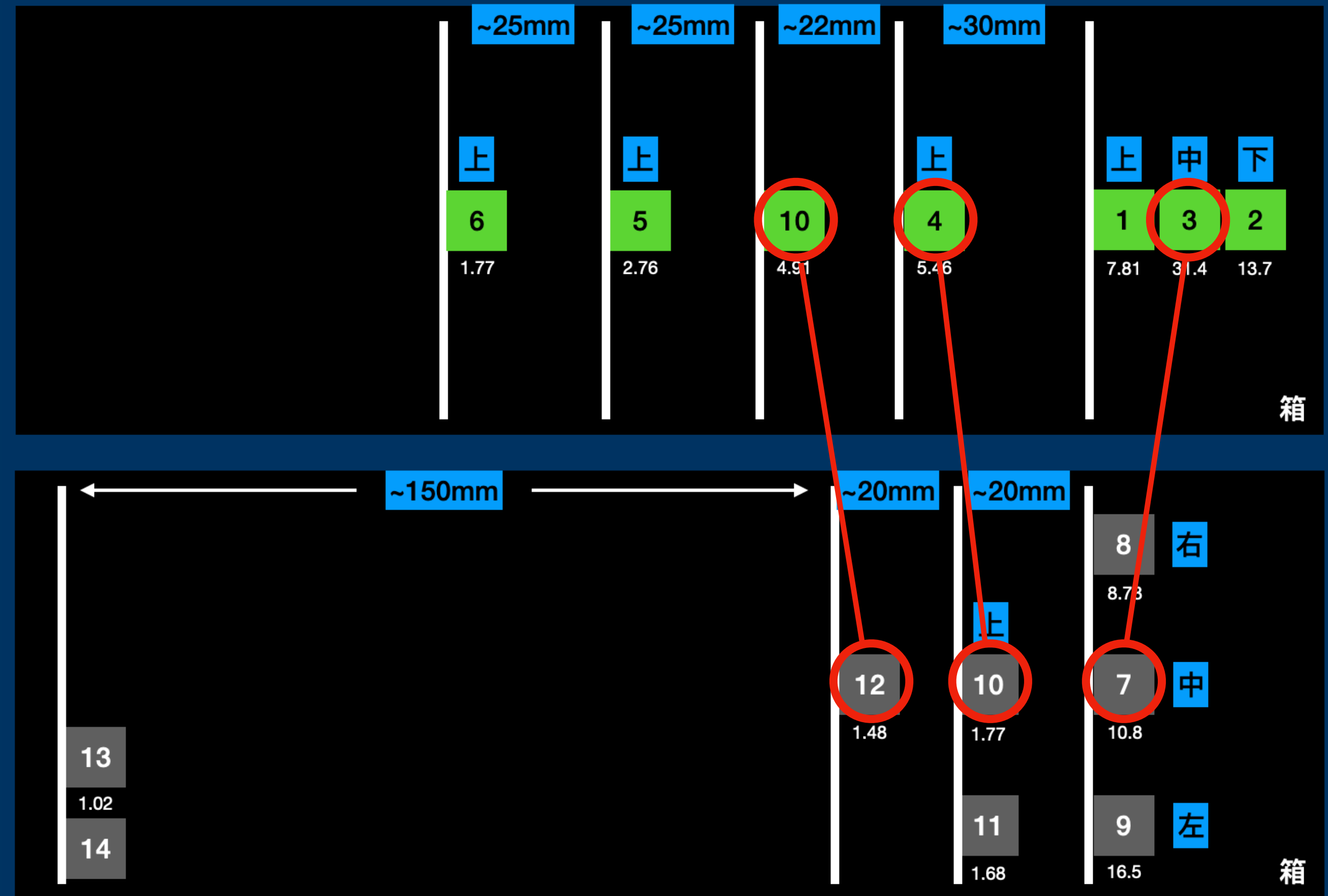
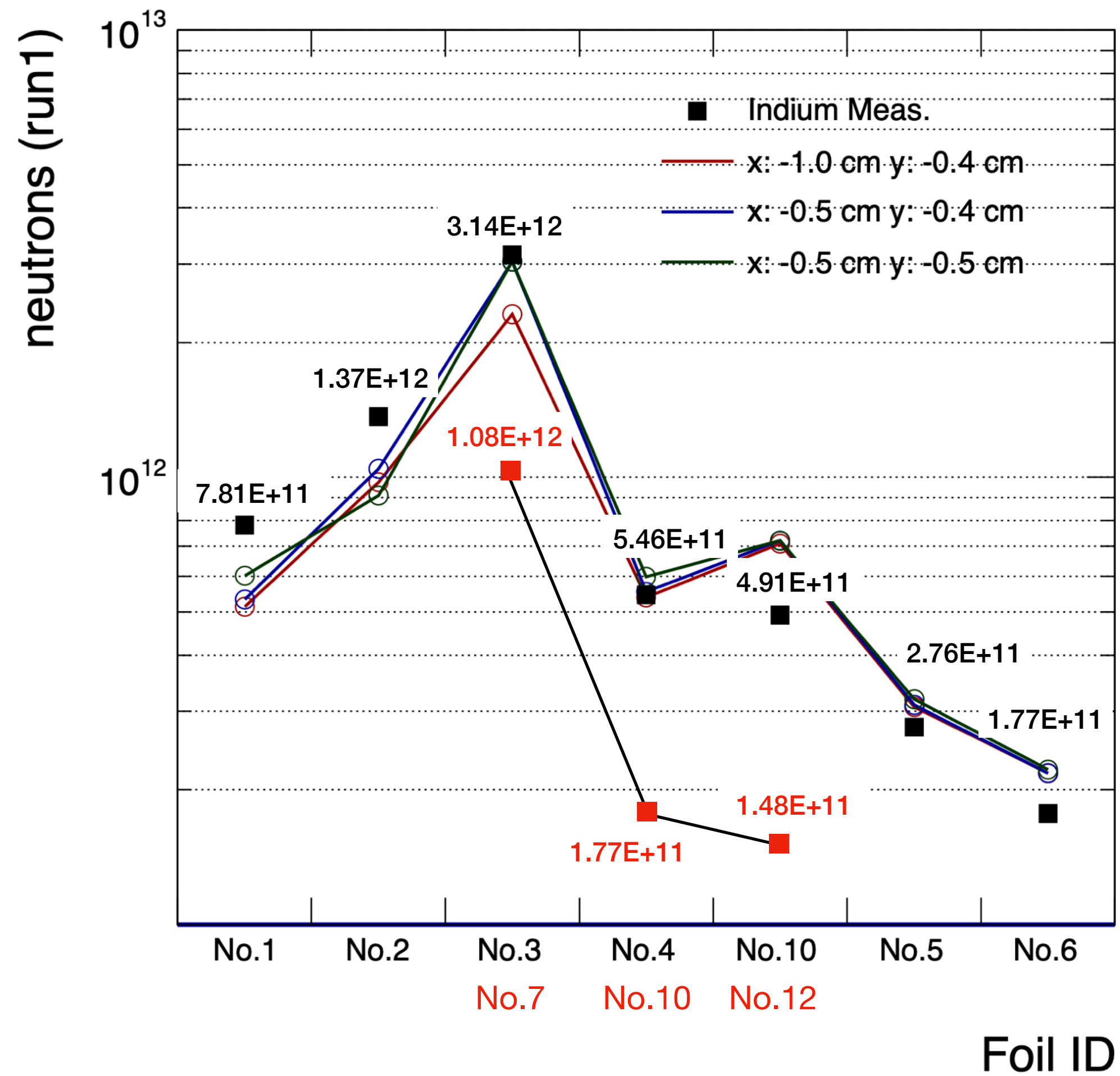


2023

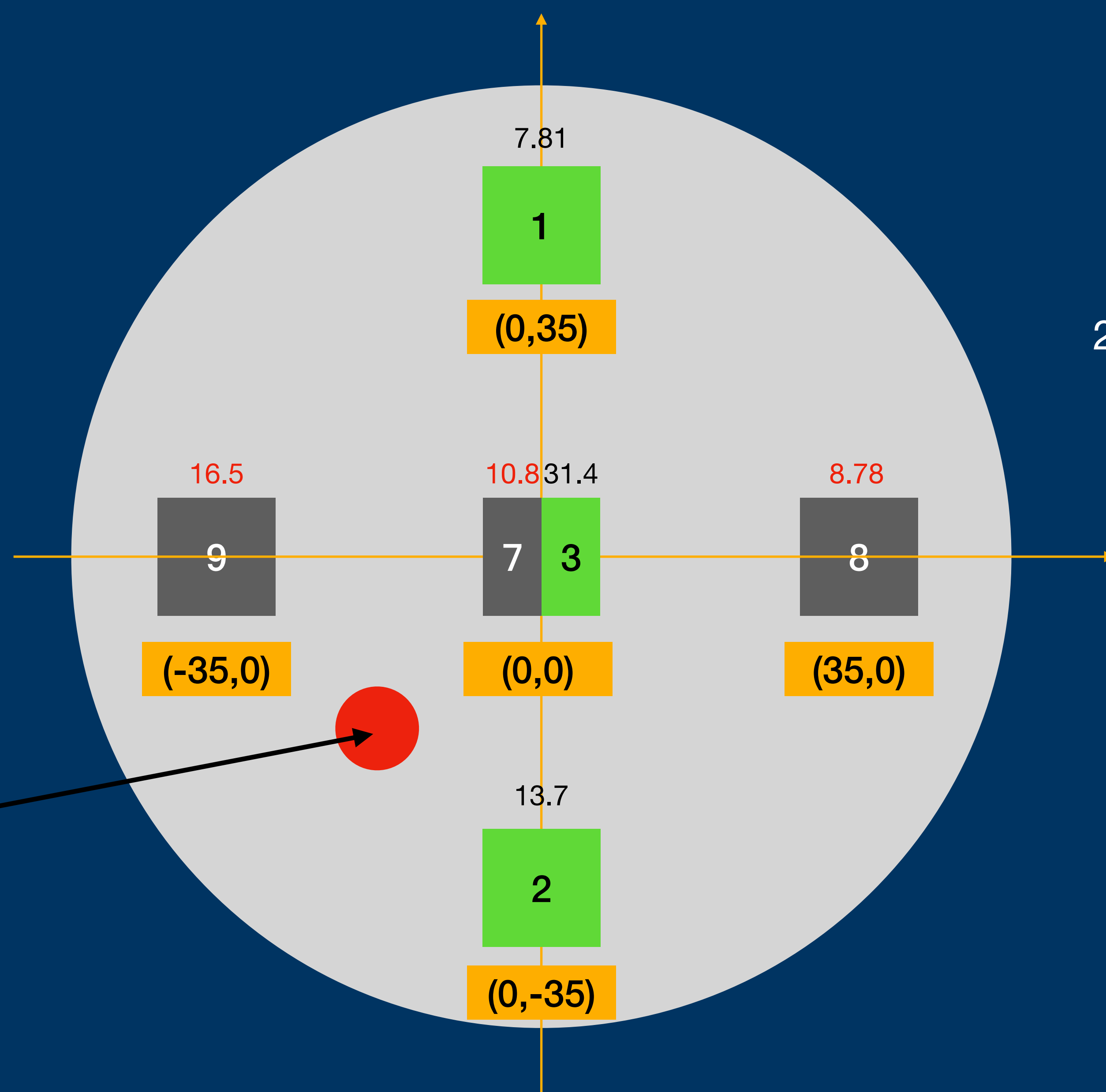
← Beam







結論 1 : 全体的には、2023の中性子の単位照射量は2022の約1/3となる。

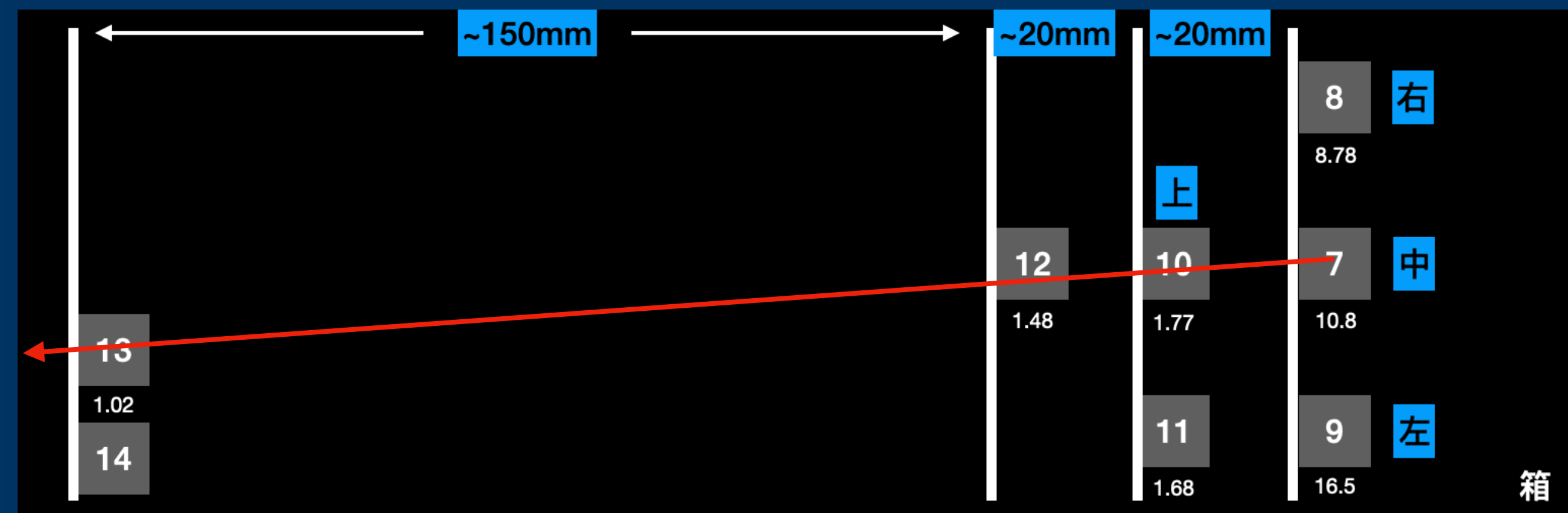
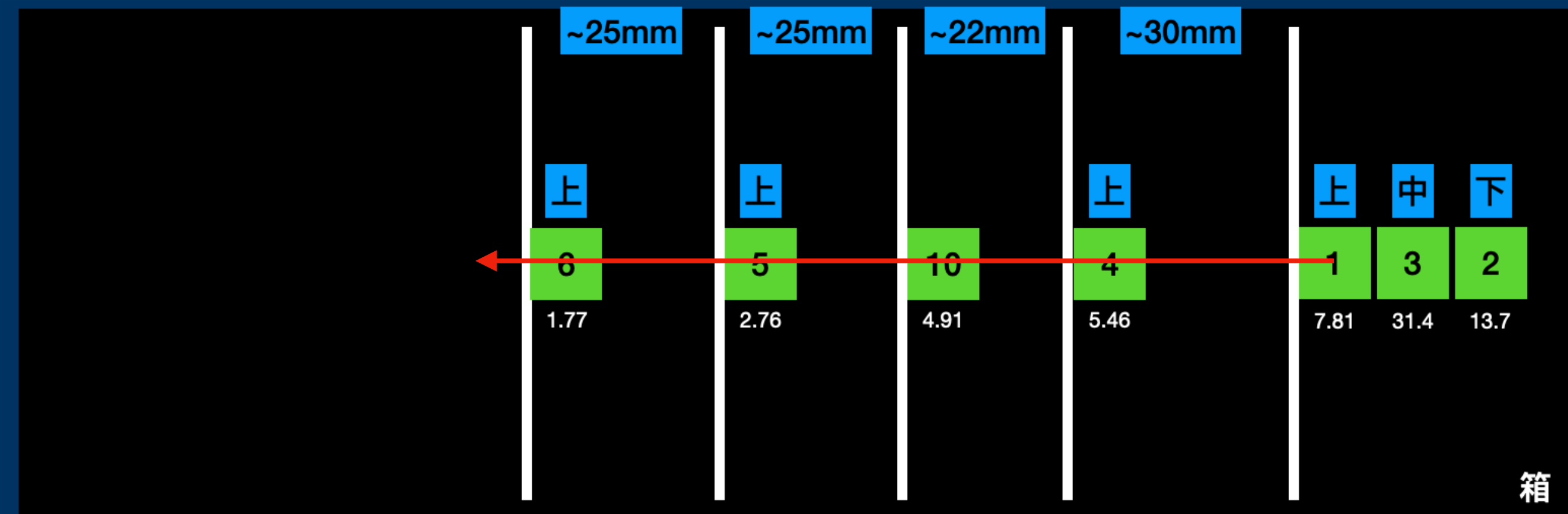
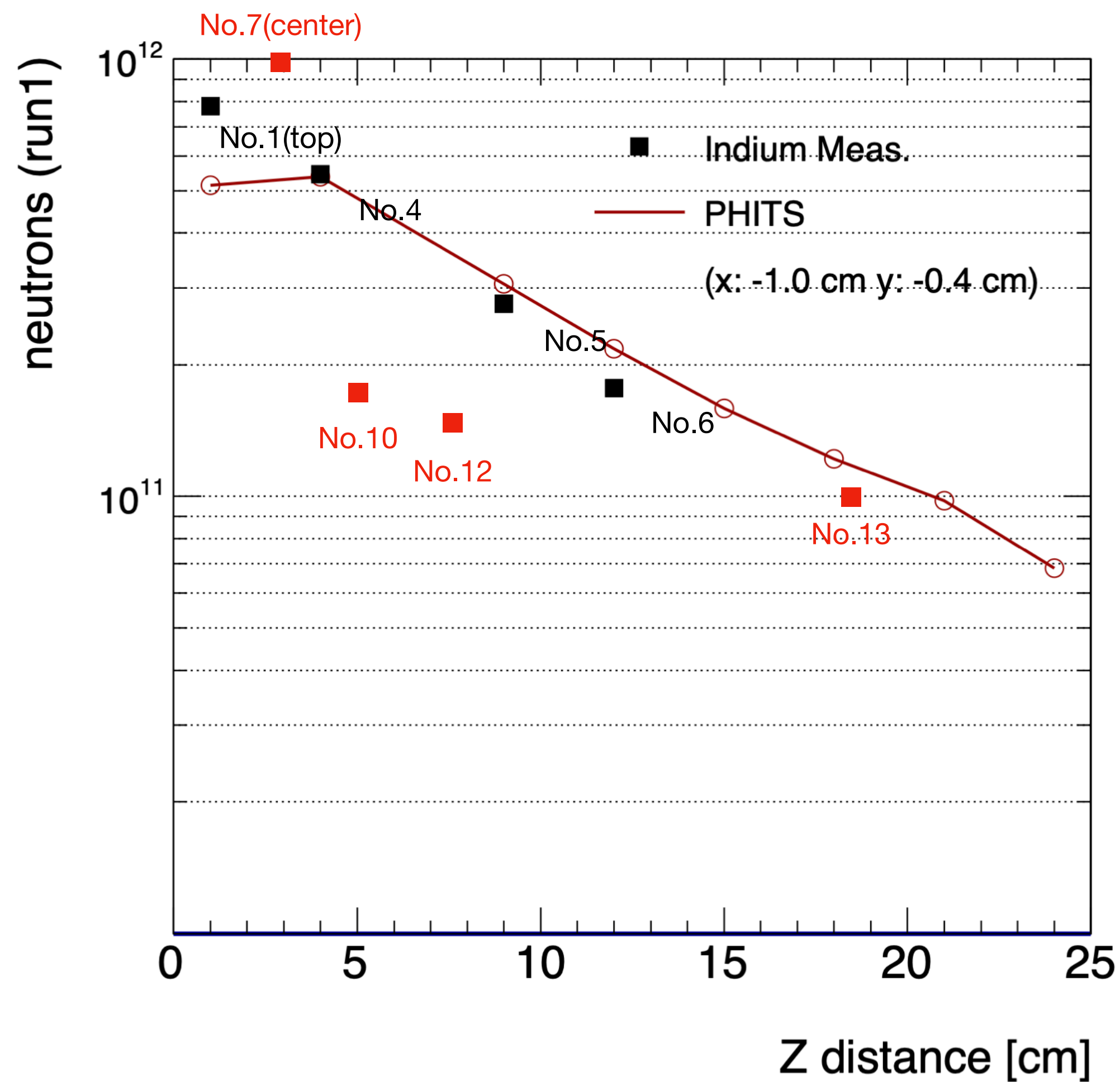


単位:  $10^{11}$

2022年の照射量 (0.0144C)  
に規格化した中性子数

ビームの中心?

結論 2: ビームの中心は左下にあるかもしれない。



結論 3: Layer 1 以外ではビームは広がっている可能性がある。  
Z dependence 大きくは変わらない。

# Back up

2022と相当の電流に規格化:

2023の中性子数\* 2022の単位照射量/2023の単位照射量

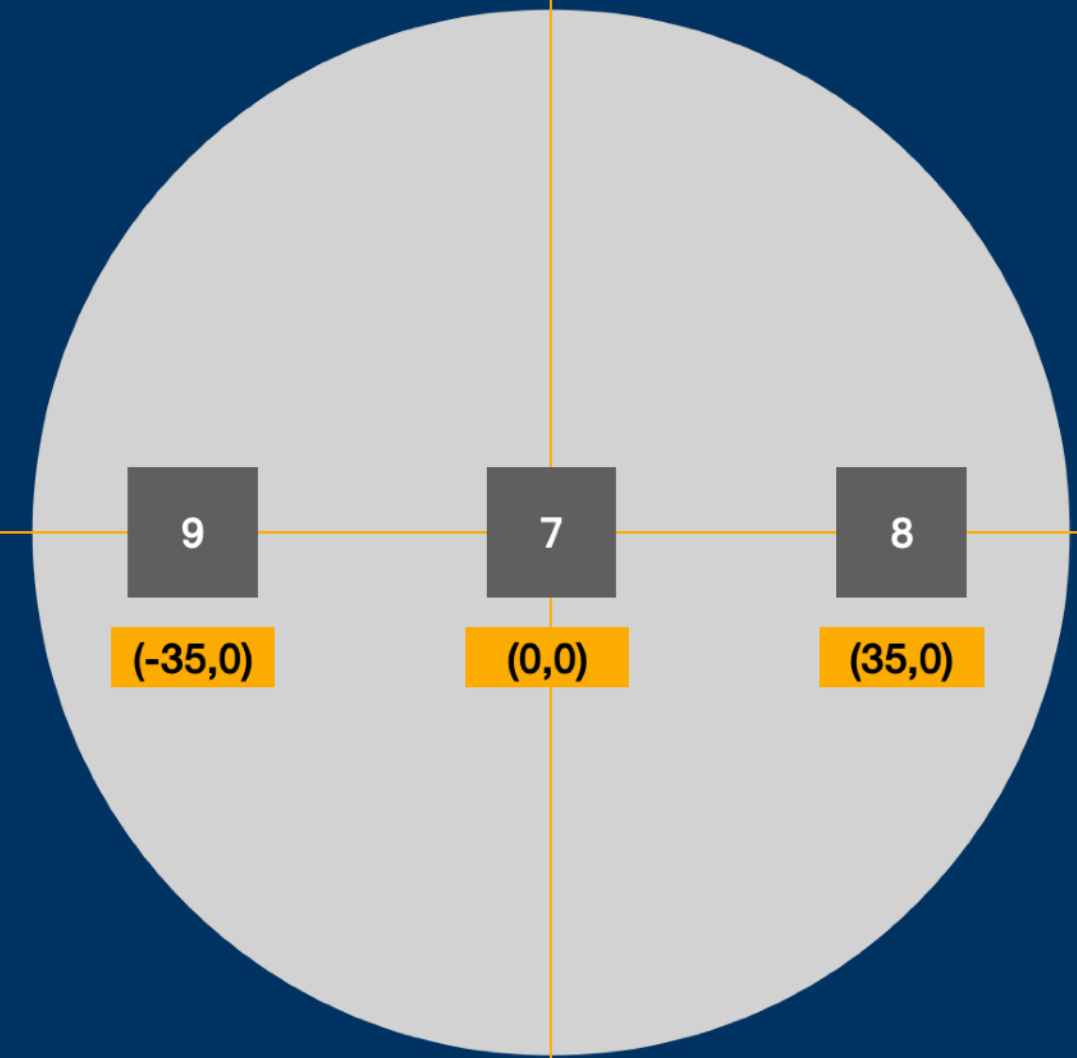
=2023の中性子数\* 0.0358 / 0.0144

=2023の中性子数\*2.486

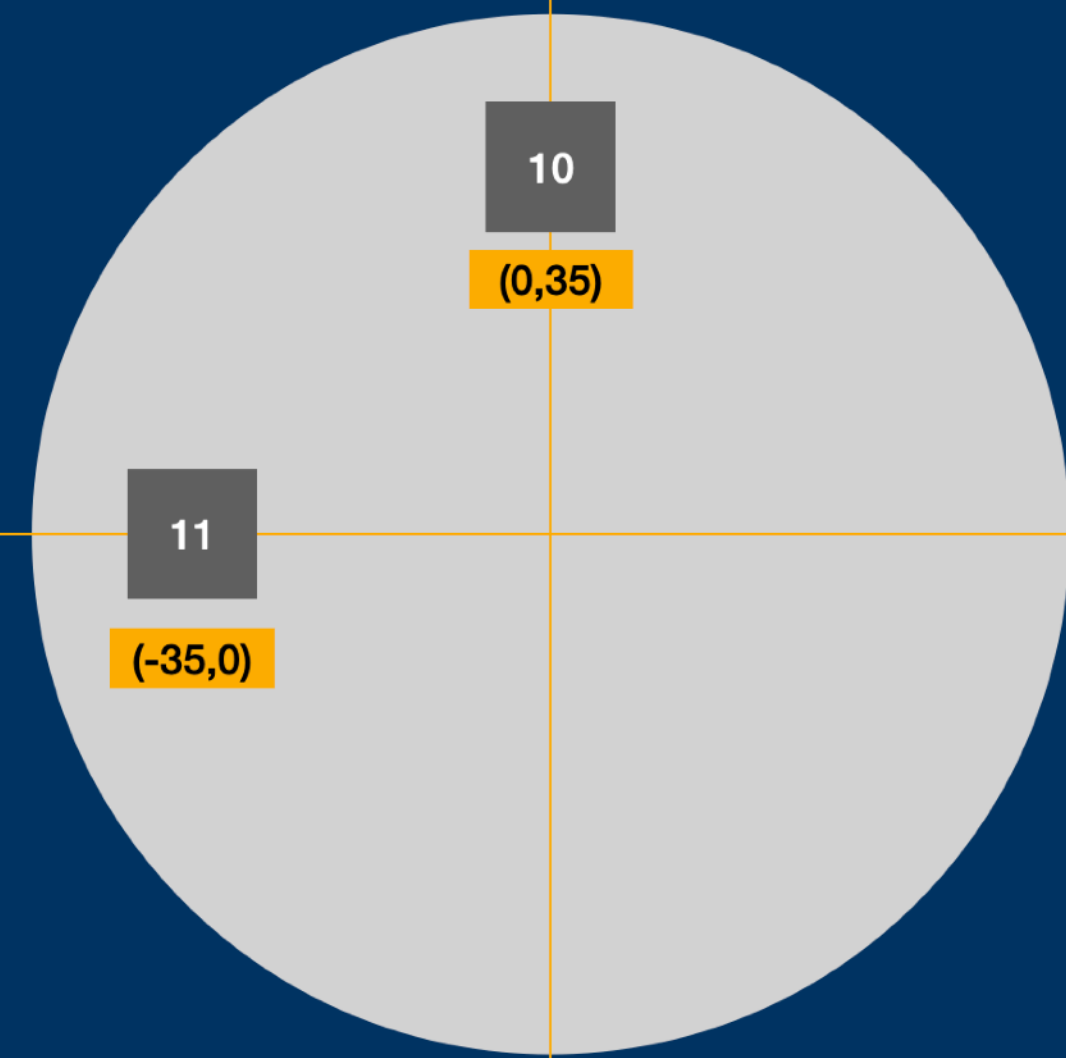
7	1.08E+12	11	1.68E+11
8	8.78E+11	12	1.48E+11
9	1.65E+12	13	1.02E+11
10	1.77E+11		

2023

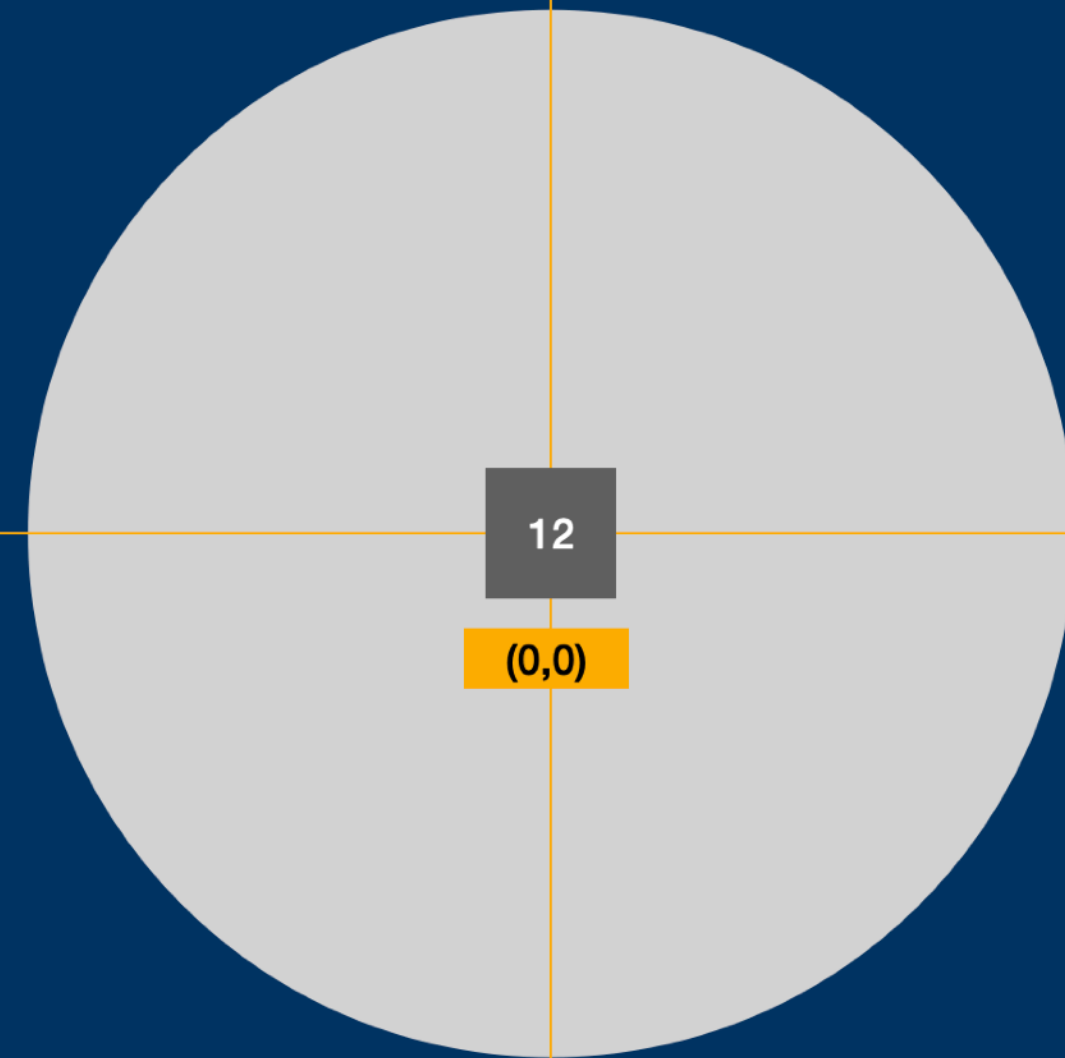
Layer 1



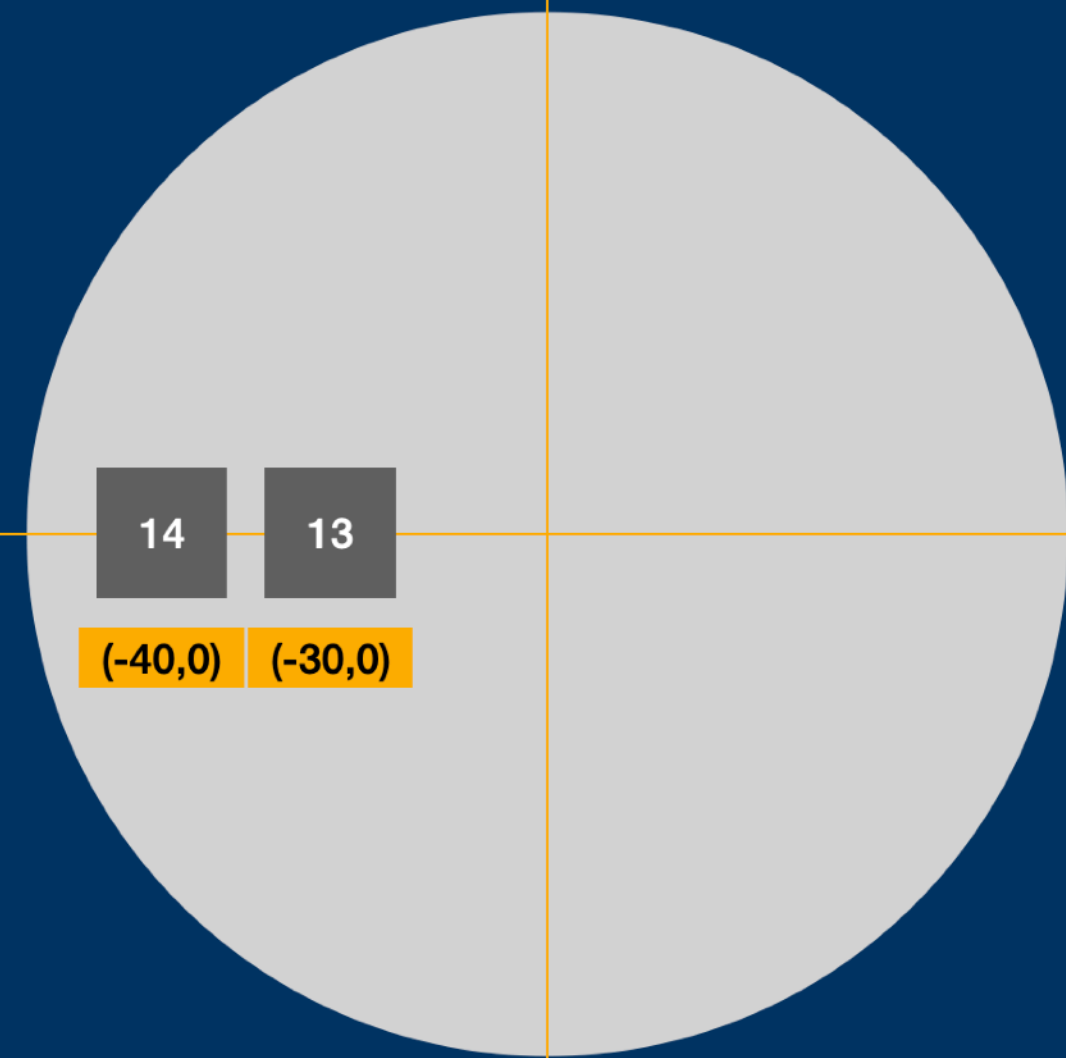
Layer 2



Layer 3

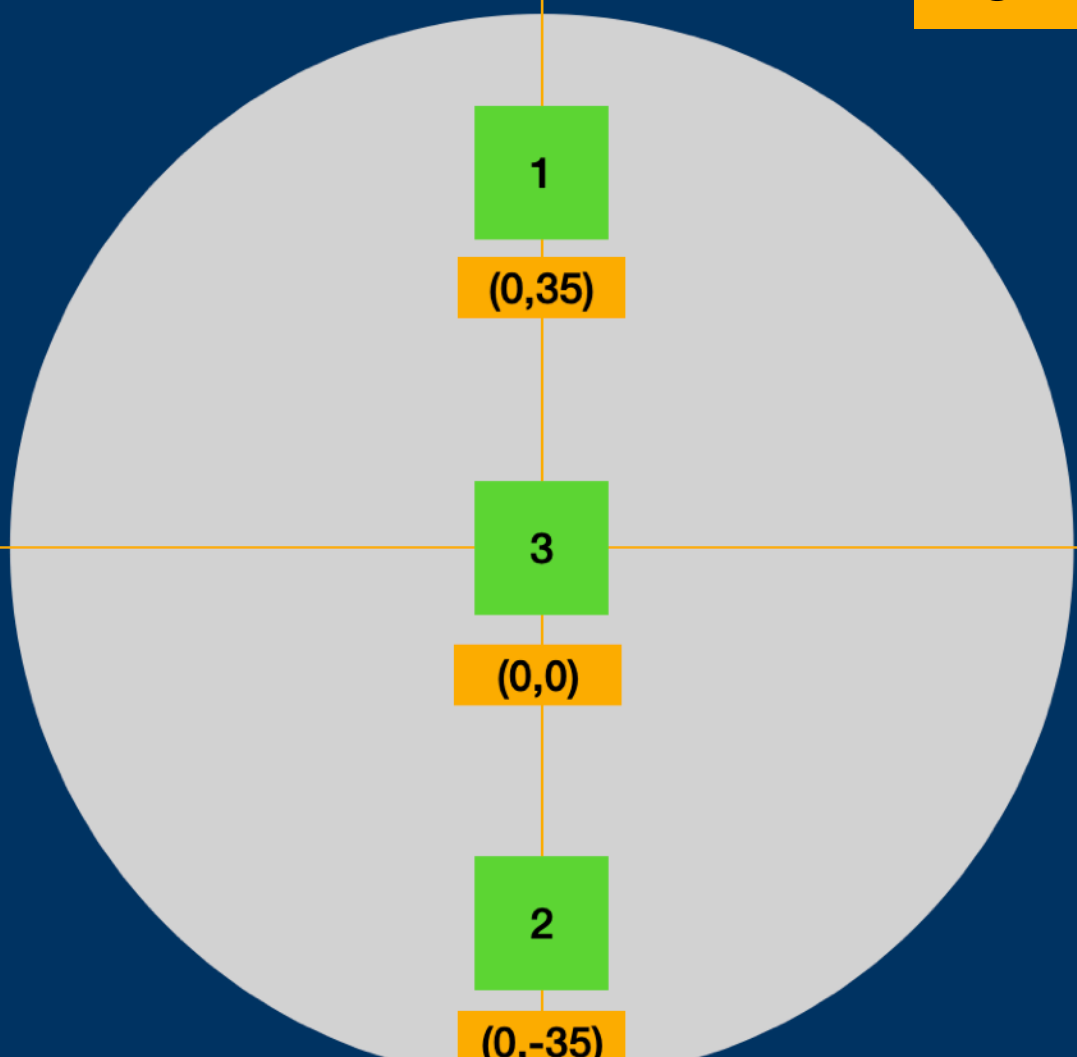


Layer 4

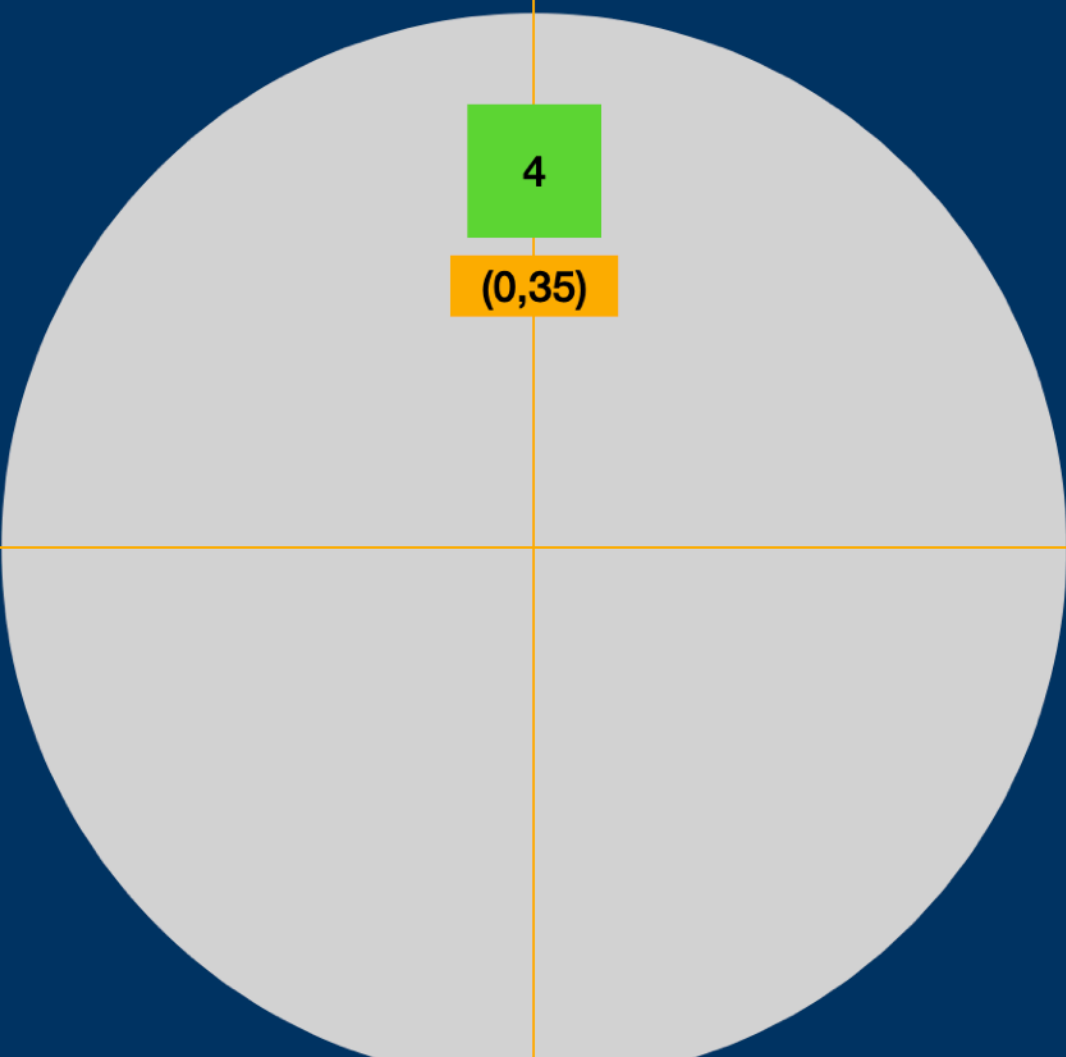


2022

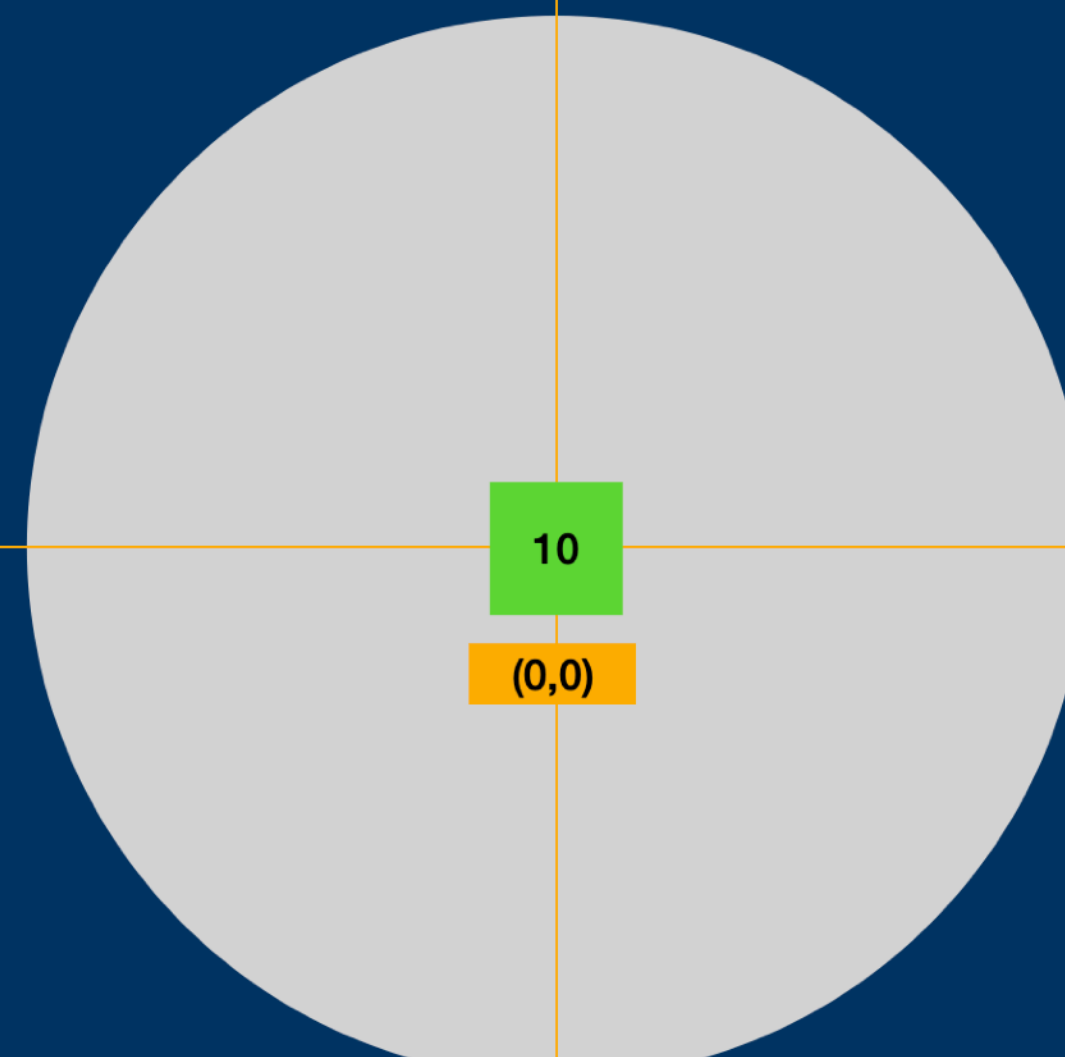
Layer 1



Layer 2



Layer 3



Layer 4

